

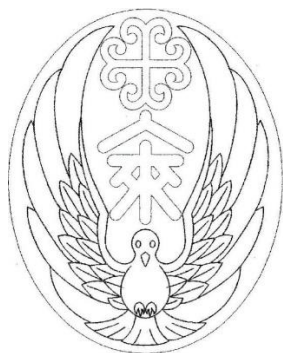
入来小学校の歴史

◆ 入来小学校の始まり ◆

慶応4年(1868年明治元年)延命院というお寺(学校の北側の田んぼ付近)に寺子屋を開き、当時の青少年に読み・書き・そろばん・手習いなどの勉強を教えました。指導には、種子田蒙猿、本田季靖、市来養徳の3人があたりました。

明治2年(1869年)には、延命院がなくなったので、寺子屋を旧仮屋邸(現在の入来小学校の所)に移し、鹿児島から五代一郎氏を先生に招き勉強を始めました。入来小学校の誕生もこの年になります。

入来小学校は、誕生から154年間(令和5年度)続いており、清色城の大手門(現在の門)、お濠などが現在も残り、入来院700年の歩みをしのぶことのできる歴史と伝統のある学校として生き続けています。



〈校章〉

清色城主入来院家が、元禄年間島津家より贈られた紋に平和のシンボルとして鳩を配したもので、明るく仲よく正しく成長することを望む願いを表す。